Canon

KS-1200TKM
使用説明書

⚠ 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みくださ い。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 煙が出ている、発熱している、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合は、最寄りのキャノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、最寄りのキャノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。
  また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- USBケーブルは、使い方を誤ると火災や感電の原因になります。次のことは必ずお守りください。
  - ・束ねたり、結んだりしない。
  - ・濡れた手でUSBケーブルを抜き差ししない。
- USBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・分解しない。
  - ・加熱しない、火の中に投入しない。
  - ・充電しない。

  本機に使用しているボタン電池を取り外した場合は、子供がボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
  万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意 取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重い物を載せないでください。置いた物が倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金属片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、最寄りのキャノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。USBケーブルを引っぱると、芯線の露出、断線など、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・指定以外の電池は使用しない。
  - ・極性（+と−の向き）に注意して正しく入れる。
  - ・長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

仕　様

型　　　式：キヤノン「KS-1200TKM」
表　　　示：液晶表示12桁
演 算 桁 数：置数、被演算数/演算数;12桁結果; 上位桁優先12桁
使用温度範囲：0℃〜40℃
外 形 寸 法：183.7mm(奥行)X114.5mm(幅)X34.5mm(高さ)
USBケーブル：0.9m
重　　　量：275g
電　　　源：太陽電池および内蔵電池；リチウム電池(CR2032)×1個

◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

電　源

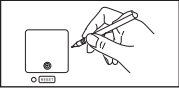
本機は、太陽電池と内蔵電池の２電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池または内蔵電池に切換わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

＊内蔵電池は、長時間にわたりご使用いただくことができます。内蔵電池が寿命になっても太陽電池計算機としてご使用になれますが、引き続き、内蔵電池でご使用になりたい場合は、右記の手順で電池交換を行ってください。

電池交換後は必ず本体裏面のRESETボタンを押し、再度税率を設定し直してください。

◆本機は約７分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は、[CA]キーを押せば、再び電源が入ります。

本体裏面のRESETボタン

計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。

保 証 内 容

1. 使用説明書に従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または機械交換を無料で行います。
2. 保証期間はお買上げ後本体のみ１年間といたします。
3. 保証期間内でも次のような場合は有料となります。
   イ)取扱い上の不注意、誤用による故障・損傷。
   ロ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   ハ)不適切な移動・落下などによる故障・損傷。
   ニ)弊社指定の販売店・サービス店以外で修理・改造が行われた場合の故障・損傷。
   ホ)本保証書にお買上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書替えられた場合。
   ヘ)本保証書の提示がない場合。
4. 製品には必ず本保証書を添えて、お買上げ店または弊社サービスセンターまでご持参またはご郵送ください。なお、その場合の交通費・郵送料・その他諸掛りはお客様のご負担となります。
5. 保証期間経過後は規定の修理・交換料金を申し受けます。
6. 本製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。
7. ご転居・ご贈答品等でお買上げ店で修理を受けられない場合は、弊社サービスセンターにご相談ください。
8. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
9. この保証書は本書に明示した保証条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は弊社サービスセンターにお問合わせください。
10. 修理内容の記録は修理伝票にかえさせていただきます。
11. 保証書は再発行できませんので、保管にご留意ください。

■ 交換サービスのご案内
お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするために、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しております。
なお、故障状況により部品交換修理方式を採用させていただく場合もございます。

■ 製品をご郵送くださる場合
1. 保証書にご愛用者名、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等をつけて製品と同封してください。
2. 保証書の保証期間及び、販売店名をご確認ください。無記入の場合は保証期間内でも有料になる場合がありますので、ご注意ください。
3. 製品は緩衝材に包んでボール箱かメールパック（郵送用の袋）に入れ、郵送中の破損、損傷を防ぐようにご配慮ください。

お願いとご注意

- 計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- 液晶表示部はガラスでできていますので強く押さえないでください。
- 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

2つのモードが選べます

本機には、通常の電卓として使用する計算モードと、テンキーとして使用するPC入力モードの2つのモードがあります。パソコンに接続していない時は、計算モードになります。USBケーブルでパソコンに接続中は、[PC/計算]キーで２つのモードを切り替えることができます。

計算モード

計算モードにした際には、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

[ON CA] **電源オン／クリアオールキー**：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします（税率はクリアされません）。

[CI/C] **入力訂正キー**：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。２回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。

[%±] **パーセント・プラス・マイナスキー**：パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。

[税率設定 税込] **税率設定・税込み計算キー**：税率の設定、税込み計算を行う時に使うキーです。あらかじめ計算したい税率を設定することができ、設定した税率で税込み計算を行うことができます。

[税率確認 税抜] **税率確認・税抜き計算キー**：税率の確認、税抜き計算を行う時に使うキーです。[CA]キーの後にこのキーを１回押すと、設定した税率が表示されます。また、設定した税率で税抜き計算を行うことができます。

[BS] **バックスペースキー**：表示された数値を１桁ずつずらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、１桁ずつ訂正することができます。

メモリ計算

[M±] **メモリプラスイコールキー**：数値または演算結果をメモリに加算する時に使います。

[M∓] **メモリマイナスイコールキー**：数値または演算結果をメモリから引く時に使います。

[RM/CM] **リコールメモリ／クリアメモリキー**：１回押すと、メモリ内の数値を呼び出します。続けて２回押すと、メモリ内の数値をクリアします。

PC関連キー

[PC/計算] **PC/計算モード切替えキー**：PC入力モードとして使用する場合と、通常の電卓として使用する場合を、このキーで切り替えます。

[送信] **送信キー**：計算結果をパソコンに送信するキーです。

計算結果の送信方法

計算結果がディスプレイ画面に表示された状態で、[送信]を押します。

※ パソコンと接続していない時は、[送信]キーは無効となります。
※ 計算結果を送信中に、キーを押しても無効となります。
※ 送信できるのは数値のみで、３桁位取りマークやM（メモリ）, =などの計算状態表示シンボルは送信できません。
※ エラー中（Eシンボル点灯中）は送信できません。
※ 税率設定中は送信できません。
※ データ送信中に異常が発生した場合、画面に「Error」が表示され、データが送信できなくなります。その際には[CI/C]キーを押せば送信中の数値が画面に表示され、[CA]キーを押せば数値がクリアされ、画面に「0.」が表示されます。

◆計算を始める前に、必ず[ON CA]キーを押してください。

計算例	操作	表示
	[CA]	(0.)
140−25+22=137	140 [−] 25 [+] 22 [=]	(137.)
9÷5x3.2+7-1=11.76	9 [÷] 5 [×] 3 [・] 2 [+] 7 [−] 1 [=]	(11.76)
(2+4)÷3x8.1=16.2	2 [+] 4 [÷] 3 [×] 8 [・] 1 [=]	(16.2)
入力訂正の例		
(誤)2x2 →(正)2x3=6	2 [×] 2 [CI/C] 3 [=]	(6.)
(誤)152x →(正)152 +99=251	152 [×] [+] 99 [=]	(251.)
(誤)123455 →(正) 123456	123455 [BS] 6	(123456.)
自乗・べき乗	[×]の後続けて[=]キーを（n-1）回押すと、n乗が得られます。	
$4^3 = 64$	4 [×] [=] [=]	(64.)
逆数計算	[÷] [=] キーを続けて押せば、逆数を求められます。	
$\frac{1}{2} = 0.5$	2 [÷] [=]	(0.5)
定数計算	アンダーラインがひかれた数字が自動的に定数となります。	
2+3 =5	2 [+] 3 [=]	(5.)
4+3 =7	4 [=]	(7.)
1−2 =−1	1 [−] 2 [=]	(−1.)
2−2 =0	2 [=]	(0.)
2x3 =6	2 [×] 3 [=]	(6.)
2x4 =8	4 [=]	(8.)
6÷3 =2	6 [÷] 3 [=]	(2.)
9÷3 =3	9 [=]	(3.)
パーセント計算① 300の27%は？ $\frac{300 \times 27}{100} = 81$	3 [00] [×] 27 [%±]	(81.)
パーセント計算② 11.2は56の何%？ $\frac{11.2}{56} \times 100 = 20$	11 [・] 2 [÷] 56 [%±]	(20.)
割増し計算 1,200+(1,200 x 17.5%) = 1,410	12 [00] [+] 17 [・] 5 [%±]	(1'410.)
割引き計算 1,200−(1,200 x 17.5%) = 990	12 [00] [−] 17 [・] 5 [%±]	(990.)

メモリ計算

計算例	操作	表示
	[CA]	(0.)
3x4 = 12	3 [×] 4 [M±]	(M 12.)
−) 6÷0.2 = 30	6 [÷] [・] 2 [M∓]	(M 30.)
−18	[RM/CM]	(M −18.)
+) 200	200 [M±]	(M 200.)
182	[RM/CM]	(M 182.)
	[RM/CM]（メモリのクリア）	(182.)

税計算

計算例	操作	表示
税率の設定（例: 5% に設定）	[CA] [税率設定 税込] 5 [税率設定 税込]	(税 % 5.)
確認	[CA] [税率確認 税抜]	(税 % 5.)
税込計算 税抜表示額2,000円の場合の税込額／税額を求めます。（税率5%）		
税込額 = ?	2000 [税込]	(税込 2'100.)
税額 = ?	[税込]	(税額 100.)
税抜計算 税込表示額3,150円の場合の税抜額/税額を求めます。（税率5%）		
税抜額 = ?	3150 [税抜]	(税抜 3'000.)
税額 = ?	[税抜]	(税額 150.)

◆[税込]／[税抜]キーを押すごとに、金額→税込額／税抜額→税額の順に表示されます。

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは[CI/C]キーを押して解除してください。

(1)入力または演算結果の整数部が12桁を超えた場合

演算結果は上位12桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作／表示
123,456,789,012 x 10,000 = 1,234,567,890,120,000 エラー	123456789012 [×] 10000 [=] (E 1'234.56789012)

(2)メモリ内容の整数部が12桁を超えた場合（Mが点滅します。）

メモリがオーバーフローしたときは[CI/C] [RM/CM]キーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容を呼び起こすことができます。

操作	表示
333333333333 [×] 3 [M±]	(M 999'999'999'999.)
123 [×] 456 [M±]	(M E 1.00000005608)
[CI/C]	(M 1.00000005608)
[RM/CM]	(M 999'999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

(3)除数が0の除算を行った場合

操作	表示
200 [÷] 0 [=]	(E 0.)

ＰＣ入力モード

USBケーブルでパソコンに接続した状態で PC/計算 キーを押し、PC入力モードにします。PC入力モード時は、本体のディスプレイ画面に「PC入力モード」と表示されます。また、入力した数字及び計算状態表示も画面に表示されるため、入力内容の確認ができます（計算結果は表示されません）。

右記のキーを押すと、数字（0〜9）やキーに対応するコード（＋、－、・、＊、／、＝、決定、BS、TAB、ESC、←、→、↑、↓）をパソコンに送信でき、数字の入力やカーソル移動が行えます。

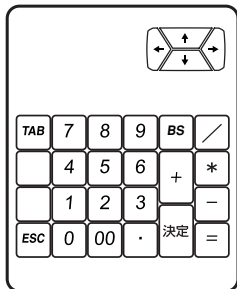
※ 右記のキー以外のキーを押しても無効となります。

注意

※ パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、以下のキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます（パソコンのスタンバイモードの解除はできません）。
・ 計算モード時：送信 キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。
・ PC入力モード時：PC入力モード時に機能するキーであれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。

※ パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、本機からの数字入力はできません。この場合、入力モードを「英数モード」にしてお使いください。

※ PC入力モード時にUSBケーブルがしっかり接続されていないなどの問題があった場合には、自動的に計算モードへ切り替わります（モードが切り替わった後の最初のキー入力で画面に「0.」が表示されます）。この場合には、接続を確認し再度 PC/計算 キーを押せばPC入力モードに戻ります。

<PC入力モード時のキー入力>

パソコンとの接続方法

パソコンと接続して使うには、以下の手順に従ってUSBケーブルで本機とパソコンを接続します。

1 パソコンのUSBポートに、USBケーブルを接続します。
※ 必ず、パソコン本体のUSBポートに接続してください。パソコン本体以外のUSBポートでは正常に動作しない場合があります。

2 接続後、USBドライバのインストールを行います。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
※ 使用するパソコン（OS）によっては、自動的にUSBドライバのインストールが行われます。
※ 本機のキー使用中にUSBケーブルの抜き差しはしないでください。

自動巻き取り式USBケーブル

ストッパー機構の採用により、自由にケーブルの長さを調節できます。またケーブル収納時には、自動巻き取りが可能です。

トラックボールについて

本機にはトラックボール及び左右ボタンが搭載されているため、マウスと同じ操作が可能です。計算途中でメールのチェックを行う場合など、わざわざマウスに持ち変える手間が省けてスムーズに作業を行うことができます。

※ トラックボールのクリーニングは、フタ表面の小さな穴を先端の細いもので押し、矢印の向きに回しながらフタを開け、トラックボールを取り出してください。

動作環境

● OS
Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPの日本語版がプレインストールされていること

● パソコン
以下の条件を充たすIBM PC/AT互換（DOS/V）機
① Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPの日本語版が動作可能で本体にUSBポートを装備しているもの
② 日本語キーボードを有しているもの

※ その他、Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPが推奨する動作環境に準拠。
※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
※ Windows® 3.1/95/NT上では動作しません。
※ 他のOS（Windows® 3.1/95/NT等）からWindows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPにバージョンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。
・ Microsoft® Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
・ IBM PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

キーボードの入力がおかしい時には

Windows Me/2000/XPをご使用の場合、USB接続の外部入力機器（日本語キーボードやテンキー等）を接続すると、Windows Me/2000/XPが英語101/102キーボードと認識し、接続されている全てのキーボードが英語101/102キーボード配列で動作する場合があります。この場合デバイスマネージャーに表示されるデバイスの表示とドライバの内容が一致せず、【@】を押すと【[　】が入力されるといった問題が発生します。以下の手順にて正常に復帰させることが可能です。

※ OSによってはデバイスマネージャー上のキーボードが最初から英語キーボードになっている場合がありますが、日本語入力が問題なく行える（例：@が正常に入力できる）場合は、日本語キーボードに切り替える必要はありません。そのままご使用ください。

Windows Meの場合

1【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。

2【デバイスマネージャー】タブを選択します。

3【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。

4【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。

5【ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

6【特定の場所にあるすべてのドライバー覧を表示し、インストールドライバを選択する】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

7【すべてのハードウェアを表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から（標準キーボード）を、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

8【ドライバ更新の警告】画面が表示されますので【はい】をクリックします。

9【デバイスドライバの更新ウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。

10 ドライバのインストール終了後、【完了】ボタンをクリックします。

11 手動でコンピュータを再起動します。

Windows 2000の場合

1 Administrators権限を持ったユーザーでWindowsにログオンします。

2【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。

3【ハードウェア】タブを選択し、【デバイスマネージャー】ボタンをクリックします。

4【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボートの名前をダブルクリックします。

5【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。
デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。

Windows 2000の場合（続）

6【次へ】ボタンをクリックします。

7【このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する】ラジオボタンを選択して、【次へ】ボタンをクリックします。

8【このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から（標準キーボード）、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

9 下の画面が表示されたら、【はい】をクリックします。

10【デバイスドライバのアップグレードウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。

11 下の画面で【完了】ボタンをクリックします。

12 下の画面で【はい】ボタンをクリックします。
コンピューター再起動後、設定が有効になります。

Windows XPの場合

1【スタート】→【コントロールパネル】→【プリンタとその他のハードウェア】の順にクリックします。

2【コントロールパネルを選んで実行します】の【キーボード】をクリックします。

3【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイス】に表示されている英語キーボードの名前をクリックします。次に、【プロパティ】をクリックします。

※ クラシック表示に設定されている場合は、【スタート】→【コントロールパネル】→【システム】→【ハードウェア】タブ→【デバイスマネージャー】→【キーボード】の順にクリックし、表示されている英語キーボードの名前をダブルクリックします。

4【ドライバ】タブをクリックし、【ドライバの更新】をクリックします。

5【一覧または特定の場所からインストールする（詳細）】をクリックし、【次へ】をクリックします。

6【検索しないで、インストールするドライバを選択する】をクリックし、【次へ】をクリックします。

7【互換性のあるハードウェアを表示】チェックボックスをオフにします。次に、【製造元】ボックスの一覧から【（標準キーボード）】をクリックし、【モデル】ボックスの一覧から現在お使いの日本語キーボード名をクリックします。そして【次へ】をクリックします。

8【完了】をクリックします。

9【閉じる】をクリックします。再起動する旨のメッセージが表示された場合、【はい】をクリックするとすぐにコンピュータを再起動します。